

ブドウ高畝の葉数・着粒数が品質に及ぼす影響

西元直行 (鹿児島県果樹試験場北薩支場)

Naoyuki NISHIMOTO : Influence of Leaf Number per Bearing Shoot and Berry Number per Fruit Cluster on the Qualities of Grape (CV. Takasumi)

近年、巨峰群のなかで着色良好とされる高畝が増殖されつつある。したがって高温多雨地帯における高畝の高品質果実生産のための1結果枝当たり葉数ならびに着粒数について検討したので、その結果を報告する。

1. 材料および方法

高畝4年生樹(台木・無毛テレキ)の2樹を用い、6月19日に摘心・摘粒をし、葉数および着粒数を所定の区に設定した。副梢の取扱いは強い枝の場合主芽の動き出すのを懸念し、1葉摘心としたが、6月25日の袋かけ時にはすべて除去した。1結果枝当たり20葉で25粒、30粒、40粒、50粒区ならびに1果房当たり30粒で、10葉、15葉、20葉、25葉区を設け、それぞれ1区10結果枝とした。着房は1結果枝1果房とした。果実品質調査は8月17日に一斉収穫し、常法に従った。結果枝の登熟率調査は12月19日に実施した。

2. 結果および考察

1) 糖度に及ぼす結果枝当たり葉数の影響は全般的に糖度が基準以上の高い傾向にあるなかで、1果房30粒としたとき20葉区が最も高い糖度を示し、次いで25葉区で

あり、10葉区が最も低かった。

2) 糖度に及ぼす1果房当たり粒数の影響は1結果枝20葉としたとき、30粒区が最も高い糖度を示した。

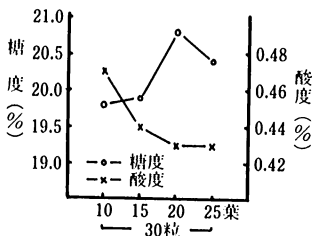
3) 酸度に及ぼす葉数の影響は葉数が多いほど酸度は低い傾向にあり、粒数の影響は30粒区が最も低かった。

4) 粒重に及ぼす葉数の影響は15葉区が最も大きかった。粒数の影響は50粒区の果粒重が最も大きく、30~40粒区は同等の大きさで、25粒区が小さかった。これは選定果房の大小と結果枝の勢いによるものと考えられた。

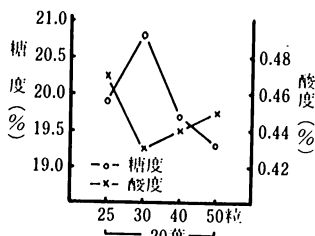
5) 着色に及ぼす葉数の影響は15葉以上の葉数が着色良好であった。粒数の影響は30~40粒区が着色良好であった。

6) 結果枝の登熟率に及ぼす葉数・粒数の影響は葉数が最も強く関与し、葉数が多いほど登熟率は高い傾向を示した。これは結果枝の勢いと摘心との関係が深いようである。粒数による大きな差は認められなかった。

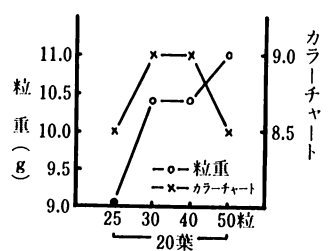
これらのことから、高畝の高品質果実生産のためには1結果枝当たり20~25葉で、1果房当たり30粒に規制することが望ましい。



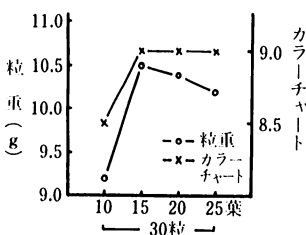
第1図 葉数と糖度・酸度



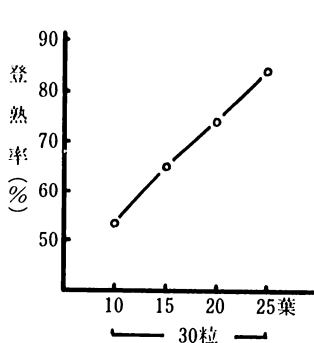
第2図 粒数と糖度・酸度



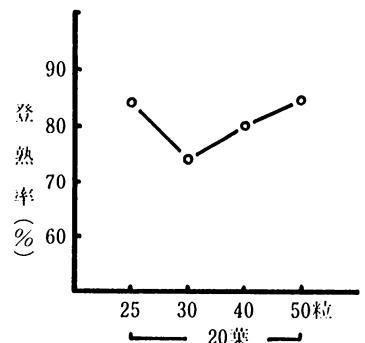
第3図 葉数と粒重・着色



第4図 粒数と粒重・着色



第5図 葉数と結果枝の登熟率



第6図 粒数と結果枝の登熟率